

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	重症児デイサービスうさぎの秘密基地			
○保護者評価実施期間	令和7年4月9日 ～ 令和7年4月21日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○従業員評価実施期間	令和7年4月9日 ～ 令和7年4月21日			
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数)	8名
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年4月21日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	ノーリフティングケアを推奨し、天井走行リフト、床走行リフト、ベッドサイドリフトを設置しています。スライディングシート、介護用グローブ、スライディングボードなどの福祉用具も取り揃え、お子さんと職員にとって安心安全なケアを提供しています。	管理者、自発管が日常のケアや移乗についてお子さんと職員の姿勢を重視して、指導管理している。	ノーリフティングケアの外部研修を検討していく。
2	作業療法士・理学療法士・保育士・児童指導員といった専門職が療育・支援に関わっている。	体を動かす活動・スイッチ操作による活動・制作活動などいづれにおいてもお子さんの自己決定を尊重し本人のやる気を引き出せるように楽しい活動となるように取り組んでいる。	お子さんの活動を更に引き出し広げられるように、機械や道具の点検・整備を行い。少しずつですが、物品を充実させていく。
3	お風呂を設置し、お子さんの保清・リラクゼーション実施しています。 保護者負担の軽減も図れています。	体をきれいにするだけではなく、五感を刺激してリラクゼーションするお子さん、遊びたいお子さんに合わせた方法を探っている。	入浴物品（リフト・ゆらりん・ピュアット・シャワーチェア）などの点検整備を行い。個に合わせた入浴方法を検討していく。

	事業所の弱み（※）と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故対応、災害対応等の緊急時の対応マニュアルは作成している。緊急事態が起こった際のスムーズな対応ができるよう、より具体的な事例を全従業員に周知と訓練を行っていくことが必要だと考える。	マニュアルは情報量が多く、実際に対応する際に、スムーズではない可能性がある。	手順を分かりやすくしたフローチャートの整備や、繰り返し訓練が必要だと考える。
2	保護者の方への非常時等への対応（緊急時・感染症等）に対する周知・発信不足。 訓練等実施していることの発信不足。	防災への取り組みや緊急時の対応は作成しているが、契約時のみの説明に留まり、周知機会が不足。 Instagram・ホームページを主とした発信機不足。	防災への取り組みや緊急時の対応に関しては、内容の確認の元、年度初めに保護者へ周知していく。 Instagramやホームページ等を通じて、保護者の方へ取り組みを発信していく。